



会 社 名 株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ
代表者名 代表執行役社長 半沢 淳一
(コード：8306、東証プライム市場・名証プレミアム市場)
問合せ先 財務企画部主計室 室長 高橋 昌久
(TEL. 050-3613-1179)

当社は、2026年8月3日に「2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」を開示いたしましたが、四半期連結財務諸表について、公認会計士等による期中レビューが完了しましたのでお知らせいたします。

以上



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場取引所 東・名

上場会社名 株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

コード番号 8306 URL <https://www.mufg.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 半沢 淳一

問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部主計室 室長 (氏名) 高橋 昌久

(TEL) 050-3613-1179

配当支払開始予定日 —

特定取引勘定設置の有無 : 有

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,907,543	20.1	1,117,934	57.8	809,427	48.2
2026年3月期第1四半期	3,253,932	△7.7	708,535	△3.4	546,068	△1.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,140,739百万円 (741.3%) 2026年3月期第1四半期 135,586百万円 (△86.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2027年3月期第1四半期	71.77		71.59	
2026年3月期第1四半期	47.55		47.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	433,913,478	24,182,083	5.2
2026年3月期	431,731,548	23,744,152	5.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 22,699,148百万円 2026年3月期 22,273,941百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
	銭		銭		銭
2026年3月期	—	35.00	—	51.00	86.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		48.00	—	48.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績目標 (2026年4月1日～2027年3月31日)

2027年3月期の「親会社株主に帰属する当期純利益」は27,000億円を目標としております。(2026年5月15日公表の目標値から変更ありません。)

(当社グループは、銀行業、信託銀行業、証券業、クレジットカード・貸金業等の金融サービス業を展開しておりますが、これらの業務には、経済情勢、相場環境等に起因するさまざまな不確実性が存在するため、業績予想に代えて、親会社株主に帰属する当期純利益の目標値を記載しております。)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	11,867,710,920株	2026年3月期	11,867,710,920株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	611,946,162株	2026年3月期	580,104,991株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	11,278,794,990株	2026年3月期1Q	11,484,298,385株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に適用される財務報告の枠組み	7
(4) セグメント情報等の注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 継続企業の前提に関する注記	8
(7) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記	8
(8) 追加情報	9
期中レビュー報告書	10

(補足説明資料)

2027年3月期第1四半期決算説明資料

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

2026年8月3日に当社ウェブサイトに掲載しております「決算ハイライト」において記載しております。

URL: <https://www.mufg.jp/ir/fs.html>

※上記ウェブサイトの財務情報 2026年度(2027年3月期)日本基準 第1四半期に掲載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
現金預け金	90,045,500	80,634,504
コールローン及び買入手形	1,570,196	1,765,235
買現先勘定	16,375,722	16,855,131
債券貸借取引支払保証金	5,486,014	4,373,343
買入金銭債権	7,560,410	7,820,646
特定取引資産	39,995,337	45,614,047
金銭の信託	1,159,280	1,275,356
有価証券	85,714,795	88,132,783
貸出金	133,799,490	134,454,378
外国為替	2,248,944	2,385,154
その他資産	28,407,448	30,235,114
有形固定資産	1,417,304	1,428,246
無形固定資産	1,955,987	1,975,937
退職給付に係る資産	2,646,314	2,681,634
繰延税金資産	147,478	150,824
支払承諾見返	14,431,269	15,344,233
貸倒引当金	△1,229,947	△1,213,092
資産の部合計	431,731,548	433,913,478
負債の部		
預金	239,439,246	236,937,385
譲渡性預金	17,601,483	19,305,711
コールマネー及び売渡手形	5,307,704	4,943,457
売現先勘定	39,146,995	34,743,217
債券貸借取引受入担保金	1,197,233	1,151,407
コマーシャル・ペーパー	3,421,893	3,172,552
特定取引負債	32,038,719	36,553,261
借入金	9,359,997	6,348,411
外国為替	2,715,051	2,575,661
短期社債	1,217,464	1,110,082
社債	15,790,570	17,180,639
信託勘定借	2,903,438	3,177,619
その他負債	22,285,686	26,029,404
賞与引当金	293,548	160,192
役員賞与引当金	3,978	2,550
株式給付引当金	14,287	16,041
退職給付に係る負債	107,274	108,689
役員退職慰労引当金	1,548	816
ポイント引当金	8,877	9,751
偶発損失引当金	144,184	143,205
特別法上の引当金	6,179	6,652
繰延税金負債	466,990	626,883
再評価に係る繰延税金負債	83,769	83,566
支払承諾	14,431,269	15,344,233
負債の部合計	407,987,396	409,731,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
資本金	2,141,513	2,141,513
資本剰余金	—	—
利益剰余金	16,150,394	16,382,796
自己株式	△934,137	△1,033,983
株主資本合計	17,357,770	17,490,325
その他有価証券評価差額金	1,672,075	1,925,503
繰延ヘッジ損益	△1,262,833	△1,387,120
土地再評価差額金	121,039	121,039
為替換算調整勘定	3,711,516	3,925,610
退職給付に係る調整累計額	724,229	700,918
在外関係会社における債務評価調整額	△53,835	△78,993
在外関係会社における貸出金の評価差額金	3,979	1,864
その他の包括利益累計額合計	4,916,171	5,208,822
新株予約権	99	669
非支配株主持分	1,470,111	1,482,264
純資産の部合計	23,744,152	24,182,083
負債及び純資産の部合計	431,731,548	433,913,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)
経常収益	3,253,932	3,907,543
資金運用収益	2,022,572	2,336,667
(うち貸出金利息)	968,208	1,139,037
(うち有価証券利息配当金)	412,039	539,179
信託報酬	37,894	45,613
役務取引等収益	566,731	682,130
特定取引収益	80,557	133,316
その他業務収益	239,531	190,366
その他経常収益	306,645	519,448
経常費用	2,545,396	2,789,609
資金調達費用	1,331,819	1,454,332
(うち預金利息)	494,993	554,251
役務取引等費用	105,128	123,964
特定取引費用	37,769	615
その他業務費用	114,189	73,170
営業経費	796,719	900,551
その他経常費用	159,770	236,975
経常利益	708,535	1,117,934
特別利益	22,870	4,271
固定資産処分益	5,315	4,271
子会社清算益	17,555	—
特別損失	2,791	3,932
固定資産処分損	2,723	3,457
減損損失	9	0
金融商品取引責任準備金繰入額	59	473
商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	728,615	1,118,273
法人税、住民税及び事業税	144,834	186,253
法人税等調整額	2,360	85,414
法人税等合計	147,194	271,667
四半期純利益	581,420	846,605
非支配株主に帰属する四半期純利益	35,352	37,178
親会社株主に帰属する四半期純利益	546,068	809,427

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	581,420	846,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,962	262,053
繰延ヘッジ損益	△94,270	△117,235
土地再評価差額金	7	—
為替換算調整勘定	△279,302	133,479
退職給付に係る調整額	△15,955	△23,657
在外関係会社における貸出金の評価差額金	1,770	△3,684
持分法適用会社に対する持分相当額	△143,046	43,177
その他の包括利益合計	△445,834	294,133
四半期包括利益	135,586	1,140,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,064	1,102,078
非支配株主に係る四半期包括利益	27,522	38,660

(3) 四半期連結財務諸表に適用される財務報告の枠組み

四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記は株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに期中連結財務諸表に係る我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成しております。

(4) セグメント情報等の注記

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの粗利益及び営業純益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	リテール・デジタル事業本部	法人・ウェルスマネジメント事業本部	コーポレートバンキング事業本部	グローバルコマーシャルバンキング事業本部	受託財産事業本部	グローバルCIB事業本部	顧客部門小計	市場事業本部	その他	合計
粗利益	255,406	197,147	245,136	195,529	138,751	221,128	1,253,101	160,203	△47,074	1,366,230
経費	189,030	110,247	97,767	108,423	101,850	111,766	719,085	79,290	25,607	823,983
営業純益	66,376	86,899	147,369	87,106	36,901	109,362	534,016	80,913	△72,682	542,247

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、粗利益を記載しております。

2 粗利益には、資金運用収支、信託報酬、役務取引等収支、特定取引収支及びその他業務収支を含んでおります。

3 経費には、人件費及び物件費を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	リテール・デジタル事業本部	法人・ウェルスマネジメント事業本部	コーポレートバンキング事業本部	グローバルコマーシャルバンキング事業本部	受託財産事業本部	グローバルCIB事業本部	顧客部門小計	市場事業本部	その他	合計
粗利益	294,110	255,370	309,087	225,355	157,526	306,471	1,547,922	236,085	△21,580	1,762,427
経費	208,864	122,162	107,159	126,369	117,358	126,231	808,146	87,443	46,289	941,879
営業純益	85,246	133,208	201,927	98,985	40,167	180,240	739,776	148,641	△67,869	820,547

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、粗利益を記載しております。

2 粗利益には、資金運用収支、信託報酬、役務取引等収支、特定取引収支及びその他業務収支を含んでおります。

3 経費には、人件費及び物件費を含んでおります。

2 報告セグメントの営業純益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

営業純益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	542,247	820,547
報告セグメント対象外の連結子会社の業務純益	△147	△1,682
一般貸倒引当金繰入額	13,392	5,899
与信関係費用	△83,623	△103,231
償却債権取立益	23,293	25,269
株式等関係損益	30,312	98,918
持分法による投資損益	157,954	261,564
その他	25,106	10,647
四半期連結損益計算書の経常利益	708,535	1,117,934

3 報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更

当第1四半期連結累計期間より、事業本部間の粗利益・経費の配賦方法を変更しており、報告セグメントの利益の算定方法を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づいております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	88,795百万円	97,781百万円
のれん償却額	9,389百万円	11,240百万円

(8) 追加情報

(貸倒引当金の算定について四半期連結財務諸表利用者の理解に資する情報)

当社の主要な国内銀行連結子会社における貸倒引当金の算定プロセスには、取引先の債務償還能力を評価・分類した内部信用格付の決定、取引先から差し入れられた担保の価値の評価、キャッシュ・フロー見積法を適用する場合における将来キャッシュ・フローの見積り、及び、過去実績を基に算定した損失率への将来見込み等による調整といった種々の見積りが含まれております。

このうち内部信用格付は、取引先の決算情報に基づく財務定量評価に加え、現時点及び将来の取引先が属する業界環境や、経営リスク、資金調達リスク等の定性要因を基に決定しております。特に、特定の取引先の内部信用格付については、将来の業績回復見込みや事業の継続可能性の判断に高度に依存して決定される場合があります。

主要な国内銀行連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行では、貸倒引当金の算定にあたり、主として貸倒実績又は倒産実績を基礎とした貸倒実績率又は倒産確率の過去の一定期間における平均値に基づき損失率を求め、これに将来見込み等必要な調整を加えて、損失率を算定しております。

この過去実績を基に算定した損失率への将来見込み等による調整は、特に、中東情勢を含む地政学的な状況に起因する不透明な事業環境を踏まえ、過去実績を基に算定した損失率では捕捉されない追加予想損失額を考慮する等により、必要と認められる場合に実施しております。当該調整による影響額は、28,446百万円（前連結会計年度末は24,357百万円）であります。

このほか、IFRS会計基準を適用する一部の在外子会社については、IFRS第9号「金融商品」に従い、貸倒引当金を計上しております。各決算日において、各金融資産に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大しているかどうかを評価し、信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、当該金融資産に係る貸倒引当金を12ヶ月の予想信用損失に等しい金額で計上しております。一方、各金融資産に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合には、当該金融資産に係る貸倒引当金を全期間の予想信用損失に等しい金額で計上しております。当該予想信用損失は、マクロ経済変数を用いて経済予測シナリオを反映する定量モデルにより算定され、この算定プロセスには、複数の経済予測シナリオに係るマクロ経済変数及びそれぞれの経済予測シナリオに付与されるウェイト比率等の決定が含まれます。更に、定量モデルには反映されていない予想される信用損失を捕捉するために定性的な要因による調整が加えられております。

上記のような貸倒引当金の算定における主要な仮定には不確実性があり、特に、特定の取引先の将来の業績回復見込みや事業の継続可能性に対する判断、過去実績を基に算定した損失率への将来見込み等による調整、並びにIFRS会計基準を適用する一部の在外子会社における複数の経済予測シナリオに係るマクロ経済変数及びそのウェイト比率の決定ないし定性的な要因による調整は、各国の経済・物価情勢と金融・通商政策、中東情勢を含む地政学的な状況の変化等、客観的な情報を入手することが困難な経済環境に係る見積りに基づいております。

特に中東情勢を含む地政学的な状況の今後の見通しは高い不確実性を伴い、原油等に係る物流の停滞や供給制約は一定期間継続する可能性はあるが、段階的な正常化の下で原油等の資源価格も一定程度の変動を伴いつつも安定に向かう等、一定の仮定を置いた上で、客観性や合理性を確保した最善の見積りを行っております。

当第1四半期連結会計期間において、中東情勢を含む地政学的な状況の今後の見通しの前提となる事象又は状況に関して、前連結会計年度末から著しい変動は認められないため、当該仮定に重要な変更を行っておりません。なお、当該仮定についての不確実性は高く、取引先の経営状況及び経済環境への影響が変化した場合には、2027年3月期中間連結財務諸表以降に貸倒引当金が増減する可能性があります。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2026年8月5日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 下津屋 恒一郎
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 松本 繁彦
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 内田 彰彦
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 遠藤 和人

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの2026年4月1日から2027年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2026年4月1日から2026年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2026年4月1日から2026年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに期中連結財務諸表に係る我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに期中連結財務諸表に係る我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに期中連結財務諸表に係る我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における執行役及び取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに期中連結財務諸表に係る我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに期中連結財務諸表に係る我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。
監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は期中レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期決算短信開示会社)が別途保管しております。

2 X B R LおよびHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。

2027年3月期第1四半期
決算説明資料

【目 次】

下記では、三菱UFJフィナンシャル・グループは「持株」、三菱UFJ銀行は「銀行」、三菱UFJ信託銀行は「信託」と省略して表示しております。

また、【2行合算】は、三菱UFJ銀行及び三菱UFJ信託銀行の単体ベースの単純合算であります。

1. 損益状況	【持株 連結】【2行合算】【銀行 単体】【信託 単体】	 1
2. 銀行法及び再生法に基づく債権	【持株 連結】【2行合算＋信託勘定】【銀行 単体】【信託 単体】【信託勘定】	 5
3. 有価証券	【持株 連結】【銀行 単体】【信託 単体】	 6
4. ROE	【持株 連結】	 9
5. 預貸金利回	【2行合算】【銀行 単体】【信託 単体】	 10
6. 預金、貸出金の残高	【2行合算】【銀行 単体】【信託 単体】	 11
7. 信託財産残高表	【信託 単体】	 12

1. 損益状況

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増 減
1 連結業務粗利益	1,736,075	1,358,416	377,658
2 (信託勘定償却前連結業務粗利益)	(1,736,075)	(1,358,416)	(377,658)
3 資金利益	882,398	690,788	191,609
4 信託報酬	45,613	37,894	7,718
5 うち 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
6 役務取引等利益	558,166	461,602	96,563
7 特定取引利益	132,701	42,788	89,913
8 その他業務利益	117,195	125,342	△ 8,146
9 うち 国債等債券関係損益	△ 35,036	△ 28,250	△ 6,786
10 営業費	927,066	815,428	111,638
11 うち のれん償却額	11,240	9,389	1,850
12 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定・のれん償却前)	820,249	552,377	267,871
13 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	809,008	542,988	266,020
14 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	5,899	13,392	△ 7,493
15 連結業務純益(注)(13+5+14)	814,908	556,381	258,527
16 臨時損益(△は費用)	303,026	152,154	150,871
17 与信関係費用	△ 103,231	△ 83,623	△ 19,607
18 貸出金償却	△ 50,332	△ 41,280	△ 9,052
19 個別貸倒引当金繰入額	△ 52,860	△ 38,164	△ 14,695
20 その他の与信関係費用	△ 39	△ 4,178	4,139
21 貸倒引当金戻入益	-	-	-
22 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	-	-	-
23 償却債権取立益	25,269	23,293	1,976
24 株式等関係損益	98,918	30,312	68,606
25 株式等売却益	106,734	40,220	66,514
26 株式等売却損	△ 3,276	△ 8,680	5,403
27 株式等償却	△ 4,538	△ 1,227	△ 3,311
28 持分法による投資損益	261,564	157,954	103,609
29 その他の臨時損益	20,504	24,218	△ 3,713
30 経常利益	1,117,934	708,535	409,398
31 特別損益	338	20,079	△ 19,740
32 うち 固定資産処分損益	813	2,591	△ 1,778
33 うち 減損損失	△ 0	△ 9	8
34 うち 子会社清算益	-	17,555	△ 17,555
35 税金等調整前四半期純利益	1,118,273	728,615	389,658
36 法人税、住民税及び事業税	186,253	144,834	41,419
37 法人税等調整額	85,414	2,360	83,053
38 法人税等合計	271,667	147,194	124,472
39 四半期純利益	846,605	581,420	265,185
40 非支配株主に帰属する四半期純利益	37,178	35,352	1,826
41 親会社株主に帰属する四半期純利益	809,427	546,068	263,358

(注) 連結業務純益 = 子銀行単体業務純益 + その他連結会社粗利益 - その他連結会社営業経費
 - その他連結会社一般貸倒引当金繰入額 - のれんの償却費用(経常) - 内部取引

(参考)

42 与信関係費用総額(△は費用)(5+14+17+21+22+23)	△ 72,062	△ 46,937	△ 25,124
-------------------------------------	----------	----------	----------

【2行合算】

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増 減
1 業務粗利益	1,087,193	767,758	319,435
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	(1,087,193)	(767,758)	(319,435)
3 資金利益	665,797	459,685	206,112
4 信託報酬	39,843	33,106	6,736
5 うち 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
6 役務取引等利益	248,833	194,504	54,328
7 特定取引利益	△ 8,041	△ 5,100	△ 2,941
8 その他業務利益	140,761	85,561	55,199
9 うち 国債等債券関係損益	△ 37,038	△ 27,509	△ 9,529
10 営業費	480,523	414,290	66,233
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	606,670	353,468	253,202
12 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	△ 279	△ 626	347
13 業務純益(11+5+12)	606,391	352,841	253,549
14 臨時損益(△は費用)	124,249	83,028	41,220
15 与信関係費用	△ 7,120	△ 5,010	△ 2,109
16 貸倒引当金戻入益	19,417	31,492	△ 12,074
17 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	136	92	44
18 償却債権取立益	2,586	2,756	△ 169
19 株式等関係損益	95,658	28,447	67,211
20 株式等売却益	103,432	37,694	65,738
21 株式等売却損	△ 3,177	△ 7,744	4,567
22 株式等償却	△ 4,596	△ 1,501	△ 3,094
23 その他の臨時損益	13,569	25,250	△ 11,680
24 経常利益	730,640	435,870	294,770
25 特別損益	13,138	29,276	△ 16,138
26 税引前四半期純利益	743,779	465,147	278,631
27 法人税、住民税及び事業税	133,572	111,645	21,927
28 法人税等調整額	64,616	1,807	62,808
29 法人税等合計	198,188	113,453	84,735
30 四半期純利益	545,590	351,694	193,896

(参考)

31 与信関係費用総額(△は費用)(5+12+15+16+17+18)	14,742	28,704	△ 13,962
32 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
33 一般貸倒引当金繰入額	17,187	12,836	4,350
34 個別貸倒引当金繰入額	△ 189	16,333	△ 16,523
35 特定海外債権引当勘定繰入額	2,141	1,692	448
36 貸出金償却	△ 6,147	△ 1,384	△ 4,762
37 偶発損失引当金繰入額(与信関連)	△ 645	△ 3,291	2,646
38 償却債権取立益	2,586	2,756	△ 169
39 その他債権売却損等	△ 191	△ 239	48
40 コア業務純益(11-9)	643,709	380,977	262,732
41 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	578,195	363,026	215,169

【三菱UFJ銀行 単体】

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増 減
1 業務粗利益	961,154	680,188	280,966
2 資金利益	596,412	423,688	172,724
3 役務取引等利益	218,762	168,144	50,618
4 特定取引利益	35,173	△ 3,342	38,515
5 その他業務利益	110,806	91,698	19,107
6 うち 国債等債券関係損益	△ 20,043	△ 27,810	7,767
7 営業費	420,391	360,087	60,303
8 うちのれん償却額	902	839	62
9 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、のれん償却前)	541,665	320,940	220,725
10 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	540,763	320,101	220,662
11 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	-	-	-
12 業務純益(10+11)	540,763	320,101	220,662
13 臨時損益(△は費用)	104,948	68,400	36,547
14 与信関係費用	△ 7,120	△ 5,007	△ 2,113
15 貸倒引当金戻入益	19,417	31,492	△ 12,074
16 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	-	-	-
17 償却債権取立益	2,585	2,755	△ 169
18 株式等関係損益	84,580	18,681	65,898
19 株式等売却益	89,903	27,115	62,787
20 株式等売却損	△ 2,384	△ 7,732	5,347
21 株式等償却	△ 2,938	△ 701	△ 2,236
22 その他の臨時損益	5,484	20,478	△ 14,993
23 経常利益	645,712	388,501	257,210
24 特別損益	13,243	29,690	△ 16,447
25 税引前四半期純利益	658,955	418,192	240,763
26 法人税、住民税及び事業税	123,494	107,739	15,755
27 法人税等調整額	50,354	△ 4,519	54,874
28 法人税等合計	173,849	103,219	70,630
29 四半期純利益	485,105	314,972	170,132

(参考)

30 与信関係費用総額(△は費用)(11+14+15+16+17)	14,883	29,240	△ 14,357
31 一般貸倒引当金繰入額	17,466	13,463	4,003
32 個別貸倒引当金繰入額	△ 189	16,336	△ 16,526
33 特定海外債権引当勘定繰入額	2,141	1,692	448
34 貸出金償却	△ 6,147	△ 1,384	△ 4,762
35 偶発損失引当金繰入額(与信関連)	△ 781	△ 3,383	2,601
36 償却債権取立益	2,585	2,755	△ 169
37 その他債権売却損等	△ 191	△ 239	48
38 コア業務純益(10-6)	560,807	347,912	212,895
39 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	514,859	334,382	180,477

【三菱UFJ信託銀行 単体】

(単位:百万円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増 減
1 業務粗利益	126,039	87,569	38,469
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	(126,039)	(87,569)	(38,469)
3 信託報酬	39,843	33,106	6,736
4 うち 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
5 資金利益	69,384	35,996	33,387
6 役務取引等利益	30,070	26,360	3,710
7 特定取引利益	△ 43,214	△ 1,757	△ 41,456
8 その他業務利益	29,955	△ 6,136	36,091
9 うち 国債等債券関係損益	△ 16,995	301	△ 17,297
10 営業費	60,132	54,202	5,930
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	65,906	33,366	32,539
12 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	△ 279	△ 626	347
13 業務純益(11+4+12)	65,627	32,740	32,887
14 臨時損益(△は費用)	19,301	14,628	4,673
15 与信関係費用	-	△ 3	3
16 貸倒引当金戻入益	-	-	-
17 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	136	92	44
18 償却債権取立益	1	1	△ 0
19 株式等関係損益	11,078	9,766	1,312
20 株式等売却益	13,528	10,578	2,950
21 株式等売却損	△ 792	△ 12	△ 780
22 株式等償却	△ 1,657	△ 799	△ 857
23 その他の臨時損益	8,084	4,771	3,312
24 経常利益	84,928	47,368	37,560
25 特別損益	△ 104	△ 413	308
26 税引前四半期純利益	84,824	46,955	37,868
27 法人税、住民税及び事業税	10,078	3,906	6,171
28 法人税等調整額	14,261	6,327	7,933
29 法人税等合計	24,339	10,233	14,105
30 四半期純利益	60,484	36,721	23,763

(参考)

31 与信関係費用総額(△は費用)(4+12+15+16+17+18)	△ 141	△ 536	395
32 与信関係費用(信託勘定)	-	-	-
33 一般貸倒引当金繰入額	△ 279	△ 626	347
34 個別貸倒引当金繰入額	-	△ 3	3
35 特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-
36 貸出金償却	-	-	-
37 偶発損失引当金繰入額(与信関連)	136	92	44
38 償却債権取立益	1	1	△ 0
39 その他債権売却損等	-	-	-
40 コア業務純益(11-9)	82,902	33,065	49,837
41 コア業務純益(除く投資信託解約損益)	63,336	28,644	34,692

2. 銀行法及び再生法に基づく債権

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

部分直接償却後

(単位: 百万円)

	2026年6月末	2026年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	274,581	303,742
危険債権	644,982	667,097
要管理債権	318,446	489,930
三月以上延滞債権	13,012	12,271
貸出条件緩和債権	305,433	477,659
小計(A)	1,238,009	1,460,769
正常債権(B)	152,109,014	150,212,705
債権合計(C=A+B)	153,347,024	151,673,475
不良債権比率(A)/(C)	0.80%	0.96%

【2行合算+信託勘定】

部分直接償却後

(単位: 百万円)

	2026年6月末	2026年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	37,182	42,991
危険債権	391,149	412,629
要管理債権	106,823	275,301
三月以上延滞債権	5,149	4,465
貸出条件緩和債権	101,674	270,836
小計(A)	535,156	730,922
正常債権(B)	135,738,681	134,395,862
債権合計(C=A+B)	136,273,838	135,126,785
不良債権比率(A)/(C)	0.39%	0.54%

【三菱UFJ銀行 単体】

部分直接償却後

(単位: 百万円)

	2026年6月末	2026年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	37,162	42,970
危険債権	390,216	411,696
要管理債権	106,823	275,301
三月以上延滞債権	5,149	4,465
貸出条件緩和債権	101,674	270,836
小計(A)	534,202	729,969
正常債権(B)	132,274,676	131,316,395
債権合計(C=A+B)	132,808,879	132,046,364
不良債権比率(A)/(C)	0.40%	0.55%

【三菱UFJ信託銀行 単体】

部分直接償却後

(単位: 百万円)

	2026年6月末	2026年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20	20
危険債権	933	933
要管理債権	-	-
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	-	-
小計(A)	953	953
正常債権(B)	3,462,150	3,077,509
債権合計(C=A+B)	3,463,104	3,078,463
不良債権比率(A)/(C)	0.02%	0.03%

【信託勘定】

部分直接償却後

(単位: 百万円)

	2026年6月末	2026年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-	-
危険債権	-	-
要管理債権	-	-
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	-	-
小計(A)	-	-
正常債権(B)	1,855	1,957
債権合計(C=A+B)	1,855	1,957
不良債権比率(A)/(C)	-	-

3. 有価証券

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の証券化商品等を含めて記載しております。

(単位:百万円)

	2026年6月末		2026年3月末	
	四半期連結貸借 対照表計上額	評価損益	連結貸借 対照表計上額	評価損益
満期保有目的の債券	26,853,717	△ 1,256,962	26,012,559	△ 1,119,329
債券	20,682,176	△ 1,168,966	19,681,132	△ 1,020,494
国債	16,134,825	△ 816,657	15,270,891	△ 704,290
地方債	2,895,311	△ 179,154	2,847,327	△ 165,265
短期社債	-	-	-	-
社債	1,652,039	△ 173,154	1,562,913	△ 150,938
その他	6,171,541	△ 87,995	6,331,426	△ 98,835
外国債券	4,355,534	△ 89,834	4,488,121	△ 99,574
その他	1,816,007	1,839	1,843,304	739

(単位:百万円)

	2026年6月末		2026年3月末	
	四半期連結貸借 対照表計上額	評価損益	連結貸借 対照表計上額	評価損益
その他有価証券	58,384,212	3,071,648	57,786,465	2,708,595
株式	4,091,581	3,191,138	3,735,905	2,818,354
債券	16,164,312	△ 287,864	14,785,152	△ 289,268
国債	14,493,762	△ 138,187	13,346,832	△ 147,696
地方債	160,797	△ 10,100	166,451	△ 10,586
短期社債	297,996	△ 45	-	-
社債	1,211,756	△ 139,530	1,271,868	△ 130,985
その他	38,128,317	168,373	39,265,407	179,509
外国株式	919,644	182,656	845,003	116,834
外国債券	27,689,978	△ 179,326	28,302,385	△ 147,975
その他	9,518,694	165,043	10,118,017	210,650

【三菱UFJ銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の証券化商品等を含めて記載しております。

(単位:百万円)

	2026年6月末		2026年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
満期保有目的の債券	24,005,133	△ 1,194,653	23,173,566	△ 1,071,335
子会社・関連会社株式	1,380,775	1,333,262	670,430	682,505

(単位:百万円)

	2026年6月末		2026年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
その他有価証券	39,704,520	2,729,531	40,321,531	2,417,494
株式	3,490,559	2,674,239	3,228,036	2,395,455
債券	13,713,729	△ 154,808	12,896,387	△ 160,520
その他	22,500,230	210,100	24,197,108	182,559
外国株式	783,462	151,330	709,641	84,853
外国債券	15,102,045	1,730	16,321,645	11,864
その他	6,614,722	57,039	7,165,821	85,841

【三菱UFJ信託銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の証券化商品を含めて記載しております。

(単位:百万円)

	2026年6月末		2026年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
満期保有目的の債券	2,848,583	△ 62,308	2,838,992	△ 47,993
子会社・関連会社株式	19,850	△ 951	19,850	△ 546

(単位:百万円)

	2026年6月末		2026年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価損益	貸借対照表 計上額	評価損益
その他有価証券	12,867,403	391,014	12,064,345	339,750
株式	678,694	537,245	602,033	458,349
債券	1,962,767	△ 133,298	1,617,044	△ 128,831
その他	10,225,942	△ 12,932	9,845,266	10,233
外国株式	193	137	171	116
外国債券	8,419,134	△ 114,991	8,001,151	△ 110,035
その他	1,806,613	101,921	1,843,943	120,152

4. ROE

【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

(単位:%)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期
親会社株主に帰属する当期純利益ベース(東証基準)	14.40	10.78

5. 預貸金利回

【2行合算】

〔国内業務部門〕

(単位:%)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期
貸出金利回	1.45	1.06
預金等利回	0.30	0.17
預貸金利回差	1.14	0.89

〔政府等向け貸出金控除後〕

貸出金利回	1.47	1.13
預貸金利回差	1.16	0.95

【三菱UFJ銀行 単体】

〔国内業務部門〕

(単位:%)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期
貸出金利回	1.45	1.06
預金等利回	0.28	0.16
預貸金利回差	1.16	0.90

〔政府等向け貸出金控除後〕

貸出金利回	1.47	1.13
預貸金利回差	1.19	0.96

【三菱UFJ信託銀行 単体】

〔国内業務部門〕

(単位:%)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期
貸出金利回	1.18	0.91
預金等利回	0.55	0.29
預貸金利回差	0.62	0.62

〔政府等向け貸出金控除後〕

貸出金利回	1.18	0.91
預貸金利回差	0.62	0.62

6. 預金、貸出金の残高

【2行合算】

(単位:百万円)

		2026年6月末	2026年3月末
預金	末残	223,722,579	226,147,759
	平残	226,391,456	220,069,126
貸出金	末残	121,517,043	121,387,762
	平残	122,864,091	116,772,107

(単位:百万円)

		2026年6月末	2026年3月末
国内預金残高(末残)(注)		182,025,312	185,272,448
	うち個人預金	94,842,609	94,216,228

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

【三菱UFJ銀行 単体】

(単位:百万円)

		2026年6月末	2026年3月末
預金	末残	209,146,770	212,081,936
	平残	211,806,114	205,531,451
貸出金	末残	118,333,210	118,578,783
	平残	119,927,242	114,035,930

(単位:百万円)

		2026年6月末	2026年3月末
国内預金残高(末残)(注)		170,574,884	173,964,807
	うち個人預金	88,317,757	87,731,542

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

【三菱UFJ信託銀行 単体】

(単位:百万円)

		2026年6月末	2026年3月末
預金	末残	14,575,808	14,065,823
	平残	14,585,341	14,537,674
貸出金	末残	3,183,832	2,808,978
	平残	2,936,849	2,736,176

(単位:百万円)

		2026年6月末	2026年3月末
国内預金残高(末残)(注)		11,450,428	11,307,640
	うち個人預金	6,524,852	6,484,686

(注)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分を含んでおりません。

7. 信託財産残高表【三菱UFJ信託銀行 単体】

(職務分担型共同受託財産合算分)

(単位:百万円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産		
貸出金	1,495,493	1,343,081
有価証券	91,704,429	90,713,814
信託受益権	193,183,132	203,009,977
受託有価証券	3,234,031	3,229,197
金銭債権	37,833,580	38,267,864
有形固定資産	27,877,699	28,214,579
無形固定資産	328,134	341,964
その他債権	3,943,856	4,186,794
コールローン	7,350,651	7,503,548
銀行勘定貸	2,808,353	3,060,925
現金預け金	7,005,048	7,004,752
合計	376,764,411	386,876,501
負債		
金銭信託	40,191,177	38,629,018
年金信託	13,894,088	13,723,675
財産形成給付信託	4,990	4,848
投資信託	191,654,775	201,504,741
金銭信託以外の金銭の信託	8,863,362	9,453,370
有価証券の信託	4,143,865	4,674,810
金銭債権の信託	33,553,151	33,175,605
動産の信託	1,149,948	1,090,960
土地及びその定着物の信託	18,681	18,629
包括信託	83,290,369	84,600,840
合計	376,764,411	386,876,501

(注) 1. 三菱UFJ信託銀行株式会社と日本マスタートラスト信託銀行株式会社が職務分担型共同受託方式により受託している信託財産を合算しております。

2. 上記以外の自己信託に係る信託財産残高は前事業年度末52,080百万円、当第1四半期会計期間末44,071百万円であります。